

2024年7月
No.24-065a(全)※1

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりましたのでご案内いたします。
弊社では皆様のご要望にお応えすべく、今後とも検査の新規拡大に努めてまいります。

敬具

記

■新規受託項目

- [-]STI4種同時核酸検出

■受託開始日

- 2024年8月1日(木)

■採取容器



採取量	裏面参照
添加剤	ドデシル硫酸リチウム含有 HEPES 緩衝液
保存方法および有効期限	常温/容器表示

※ 専用容器の検体採取および処置方法はアボットジャパン合同会社 Alinity® m マルチコレクト®検体採取キット「検体の採取方法」を参照ください。

以上

STI4 種同時核酸検出

性感染症 (sexually transmitted diseases; STD) は、淋菌感染症、性器クラミジア感染症、梅毒および性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマなどによる性的接触を介した感染の可能性がある感染症です。性器ヘルペスウイルス感染症や性器クラミジア感染症では無症候患者もいることから、STI (sexually transmitted infections) と呼ばれています。

本検査は男性では尿道炎、女性では子宮頸管炎等を引き起こす代表的な病原体であるクラミジア・トラコマチス (*Chlamydia trachomatis*)、淋菌 (*Neisseria gonorrhoeae*)、腔トリコモナス (*Trichomonas vaginalis*) に加えて非クラミジア性淋菌性尿道炎症例で最も高い頻度で検出されるマイコプラズマ・ジェニタリウム (*Mycoplasma genitalium*) の 4 種を同時に検出します。

■検査要項

検査項目名	STI4 種同時核酸検出
項目コード	—
検体量/保存方法	初尿 2.3mL* ¹ [容器:STI4 種同時用容器] / 冷蔵 または ぬぐい液* ^{1,2} [容器:STI4 種同時用容器] / 冷蔵
検査方法	リアルタイム PCR 法
基準値	クラミジア・トラコマチス 検出せず 淋菌 検出せず 腔トリコモナス 検出せず マイコプラズマ・ジェニタリウム 検出せず
報告様式	検出せず/陽性/判定不能
所要日数	3~5 日
検査実施料	以下のいずれかを算定 [D023]微生物核酸同定・定量検査 「1」クラミジア・トラコマチス核酸検出(188 点)、「2」淋菌核酸検出(198 点) 「5」淋菌及びクラミジア・トラコマチス同時核酸検出(262 点) 「12」腔トリコモナス及びマイコプラズマ・ジェニタリウム核酸同時検出(350 点)* ³ ※注意: 上記のとおり、算定実施料は、弊社で判断できませんので請求書及びレセプト報告書の実施料は「0点」で記載させていただきます。
判断料	150 点(微生物学的検査判断料)
備考	*1: 専用容器はあらかじめご依頼ください。 *2: 検体採取部位は、腔または子宮頸管です。咽頭から採取した検体では腔トリコモナスおよびマイコプラズマ・ジェニタリウムの検出は確立されていません。 *3: 以下のいずれかに該当する場合に算定できます。 ア 腔トリコモナス感染症を疑う患者であって、鏡検が陰性または実施できないものもしくはマイコプラズマ・ジェニタリウム感染症を疑う患者に対して、治療法の選択を目的として行った場合。 イ 腔トリコモナス感染症またはマイコプラズマ・ジェニタリウム感染症の患者に対して、治療効果判定を目的として実施した場合。 なお、検査を用いた診断につきましては日本性感染症学会より「非淋菌性尿道炎の診断・治療の流れ」ならびに「子宮頸管炎の診断・治療の流れ」の提言書が公開されています。
検査委託先	LSI メディエンス (→1)

■参考文献

Lima A, et al. : Sex Transm Dis, 51 (7) , 480-485, 2024.